

(四)平成二十年度薩摩川内市公  
共下水道事業特別会計予算  
加入率向上のため更に努力され  
たい。

(五)平成二十年度薩摩川内市漁  
業集落排水事業特別会計予算

手打地区の漁業集落排水施設整  
備に当たっては、戸別説明をする  
などし、利用者への周知を図られ  
たい。

(六)平成二十年度薩摩川内市水  
道事業会計予算

水道工事後の道路の陥没が多い  
と聞いているので、建設維持課と  
連携をとって対応されたい。

(七)平成二十年度薩摩川内市工  
業用水道事業会計予算

工業用水の供給量が不足するこ  
とのないよう、誘致企業との連携  
に留意されたい。

## 総務文教委員会

委員長 大田黒 博

一月二十二日・

三月十八日・十九日開催

(一)薩摩川内市の附属機関に関  
する条例の一部を改正する条例の  
制定について

薩摩川内市入札等監視委員の選  
定にあたっては、市内の公認会計

士の登用についても検討されたい。

(二)平成二十年度薩摩川内市一  
般会計予算のうち本委員会付託分  
①学校の大規模改修等については、  
児童・生徒の安全性を十分に配慮  
されたい。

②学校のトイレ改修等については、  
入口を男女別に設置する等の配慮  
をされたい。

③校外活動補助金の補助事業につ  
いては、補助基準等の見直しを含  
め公平な事業運営に配慮されたい。

④AED(自動体外式除細動器)  
の全学校等への設置に当たっては、  
小学六年生以上の児童・生徒に対  
しても操作研修の実施を検討され  
たい。

⑤人権同和教育については、校  
長・教頭のみでなく、新任教職員  
に対する指導の実施も検討され  
たい。

⑥遠距離通学費助成制度の検討に  
当たっては、保護者のみならず、  
地域住民も含め理解を得られるよ  
う、説明会の開催等について検討  
されたい。

⑦遠距離通学費助成制度が、学校  
の統廃合推進につながることをな  
いよう配慮されたい。

⑧遠距離通学費助成制度と特認校  
制度については、個々の制度の趣  
旨の実現のみでなく、制度間で公  
平性を欠くことのないよう十分留

意されたい。

⑨職員に係る人材育成、人事評価  
健康管理に当たっては、人的資源  
を生かせるような取組に努められ  
たい。

⑩人事評価制度の運用に当たって  
は、今後も職員間のコミュニケーション  
確保も含め、柔軟な運用を  
検討されたい。

⑪災害対策用品として、水に浸す  
だけで使える吸水土の導入に  
についても検討されたい。

⑫安全・安心まちづくり推進事業  
については、各種用品の配布のみ  
でなく、青色回転灯パトロール車  
の燃料費等の補助についても検討  
されたい。

⑬各種防犯用品の配布については、  
季節を考慮した製品等の導入を検  
討されたい。

⑭広報安全対策費の執行について  
は、住民向けの安全対策に関する  
事業についても重視されたい。

## 各特別委員会 報告

各特別委員会は、次の項目につ  
いて審査を行った。

## 議員定数問題調査検討 特別委員会

委員長 小牧 勝一郎

平成十九年七月三十一日・九月  
二十七日・十一月二日・十二月二  
十一日・平成二十年一月十六日・  
二月四日開催

委員会の設置に至る経緯、目的  
等の確認を行い、①法定合併協議  
会での議員定数に係る協議状況、  
②県内の人口・面積等類似都市又  
は全国類似団体の状況、本市との  
対比及び県内各市の議員定数の検  
討状況等並びに国勢調査に基づく  
本市の総人口・世帯数、③本市の  
財政健全化計画・中長期財政運営  
指針の改定等について調査検討を  
行った。

会議で出された主な意見のうち、  
三十四人とすべきであるとの立場  
とするものを、「定数を三十四人  
から自治体による告示は、定数条例  
に相当するものである」、「次期議  
員定数については、法定合併協議  
会で何回となく真剣に議論をされ  
たものであり、これを尊重すべき  
である」、「定数が三十四人になる  
ということについては議会も市民